

◀12月交通事故に注意です。自転車運転中の事故も増えます。小学生が加害者になることもあります、要注意です。▶



# 新町小だより

Shinmachishou dayori



新町小 HP QR

令和5年11月30日  
12月号  
青梅市立新町小学校  
校長 塚田 直樹

## 子供たちの記憶に残る 先生・学校をめざして

校長 塚田 直樹

令和5年11月18日(土)本校の開校50周年記念式典を体育館で開催し、小山高義副市長、橋本雅幸教育長、稲葉恭子教育長職務代理者(教育委員)をはじめとする、国会議員、都議会議員、市議会議員、第九支会長、自治会長、民生委員、市内小中学校長、学校関係では歴代の校長先生、元PTA会長、現在の学校運営連絡協議会委員、校歌作曲者の先生など多くの御来賓の御参列のもと無事終了したことを御報告させていただきます。

50年を振り返るスライド上映の後、6年生が『虹が生まれる』の歌声とともに入場し、『ふるさと』を合唱しました。その素晴らしさに参列者は圧倒され、厳かな雰囲気です。式辞・祝辞の後、最後の校歌では、作曲者である先生(旧職員)にも、三部合唱を聴いていただきました。校歌を三部で合唱することは大変珍しいことなので、皆様に児童の歌声の素晴らしさが伝わったと思います。

式が始まる前に、来賓の何人かに校長室で待機してもらった時の話です。市議会議員の2名の方は、本校卒業生で同級生ということで、校長室にある卒業アルバム(文集)をお見せすると懐かしそうに御覧になっていました。「6年何組だったかな?」「担任は〇〇先生だよ」とお二人ともすらすらと担任の先生のお名前が出てきます。その姿を見て、お二人はよい小学校生活を過ごしたのだろうと感じました。私自身も学校生活を振り返った時に、担任の先生の名前をはっきり覚えているのは、最初に出会った先生や卒業時の先生、自分自身が印象に残っている場面での先生とのやり取りがあった学年の時です。印象に残るということは、『何かよい活動や体験(行い)』『充実した日々の蓄積』があったからではないでしょうか。もちろん、その逆の場合で悪い印象(体験)によって名前が残る場合もあります。自分の思い出をよいものにしたいという気持ち、大事な人や名前を記憶に残させるのではないのでしょうか。人生にとって忘れられない人とはそういうものだと思います。子供たちにとって、いつまでも記憶に残る先生、学校になってほしいと思うのは、教員の欲目かもしれません。子供たちの大事な記憶のワンシーンに、小学校時代の先生や友達・校舎が残ることはうれしいです。そのために、教員は一人一人の児童を大切に毎日接することを心がけています。関わる全ての人により記憶に残すことは不可能ですが、子供たちの小学校時代の記憶が多くあってほしいものです。今回の式典に参加した6年生は開校100周年の時は、還暦を過ぎた年齢になります。社会人として立派な人になることを願うとともに、地域を支える人になってくれることや今回の式典のことを記憶として残っていると信じています。

さて、令和5年も残すところ1ヶ月となりました。子供たちは日々の生活を元気に過ごしています。元気に過ごせるのも、健康を維持・増進しているからです。その健康を心身ともに支えている保護者の皆様には心より感謝申し上げます。

次ページ以降に昨年度と同様に『新町っ子の活躍』を掲載させていただきました。学校からお願いしたコンクール等での成果ですが、紙面に掲載できない分野やコンクール等での活躍をしている人もいます。新体操で頑張る6年生は、12月の発表会の招待状をわざわざ校長室に届けてくれました。令和5年を振り返り、できたことや続けたこと・力を出したことを家族で認めあうのも大事です。そのことが、令和6年に向けてのよいスタートができる土台になるのではないのでしょうか。今年を振り返るとともに、令和6年の準備のための12月(師走)になることを願っています。

《ハンカチ・ティッシュの忘れが多いようです。エチケットとして常に携帯をお願いします。手洗い・うがい時・鼻をかむときに使います。》



# 12月の予定

12月の生活目標

☆身の周りの整理整頓をしよう

12月の清掃目標

☆一年のほこりをはらおう

日	曜日	給食	主な学校行事 (SC…スクールカウンセラー, AET…外国語活動支援員, PCS…情報機器支援員)	学年別下校時刻の目安						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1	金	○	Labo 面談始 <span style="border: 1px solid black;">あいさつウィーク終</span>							
2	土		第19回青梅市小・中学生の主張大会							
3	日									
4	月	○	児童朝会 委員会活動 <span style="border: 1px solid black;">ぶくぶくうがい月間始</span> AET 来校日	色 覚 検 査 週 間						
5	火	○	授業参観<セーフティ教室>(5,6年) 保護者会(5,6年) 6年生PTA学年行事 SC・PCS 来校日							
6	水	○								
7	木	○	ミニ集会(各種委員会発表) 元体操選手出張授業(3,4年)							
8	金	○	授業参観<セーフティ教室>(1,2年) 保護者会(1,2年) モアレ検診(5年・該当者) AET 来校日							
9	土									
10	日									
11	月	○	児童朝会 クラブ活動 AET 来校日							
12	火	○	授業参観・保護者会(3,4年) Labo 面談開始 SC・PCS 来校日							
13	水	○								
14	木	○	ミニ集会(音楽集会)避難訓練							
15	金	○	Labo 指導終了 AET 来校日							
16	土									
17	日									
18	月	○	児童朝会 クラブ活動 AET 来校日							
19	火	○	安全指導 たてわり班活動 SC・AET 来校日							
20	水	○	AET 来校日							
21	木	○	夢の教室(3~6校時 5年1,3組)							
22	金	○	給食終了 Labo 面談終 夢の教室(3・4校時5年2組) <span style="border: 1px solid black;">ぶくぶくうがい月間終</span>							
23	土									
24	日									
25	月	—	特別時程 終業式 大掃除							
26	火		冬季休業日開始 (3学期始業式は1/9)	12/28(木)17:00~令和6年1/5(金)8:00まで、 機械警備&留守番電話による対応期間です。						
27	水									

掲載しません。学校からの配布物で御確認ください。  
ホームページ用の学校だよりには児童の下校時刻は

## ❁❁ 冬の学校生活 ❁❁

本格的な冬に向かっていくにつれて、日常の生活の仕方が変わっていきます。御家庭でも御指導いただきながら、よりよい学校生活づくりへの御協力をお願いいたします。

\*教室に入ったら、ジャンパーやコートなどの上着を脱ぎ、手袋やマフラーも片付けます。

\*簡易カイロはポケット等に入れて、授業の妨げにならないようにします。

\*体育のときの服装は、安全のためにファスナーやボタン、フードが付いていないものにします。



# 青梅市立新町小学校 開校 50 周年記念式典 学校長式辞

本日は、青梅市立新町小学校 開校 50 周年記念式典を挙げるにあたり、青梅市副市長 小山高義様、本市教育委員会教育長 橋本 雅幸様、教育長職務代理者 稲葉 恭子様をはじめ、多数の御来賓の皆様にご多用の中、御臨席を賜り、誠にありがとうございます。

また、本校の第□□代校長○○○○先生、第□□代校長○○○○先生ならびに歴代の PTA 会長の皆様、日頃からお世話になっている学校運営連絡協議会委員、第九支会長、各地区自治会長、民生児童委員、PTA 本部役員の皆様にも多数御来校をいただきましたことを高いところからではございますが、重ねてお礼申し上げます。本式典を開催するにあたり、50 周年行事 実行委員長、現 PTA 会長、青梅市教育委員会事務局の皆様には多大なご協力をいただき、本日を迎えることができました。ありがとうございました。

この会場にいる 6 年生をはじめ、教室にいる 1 年生から 5 年生の皆さんにもお話をします。今から 410 年前の江戸時代の始めのころ、新町の隣村に住んでいた名主、今の言葉でいう地域のリーダーであった吉野織部之介（よしの おりべのすけ）さんが、仲間と共に草でいっぱいの武蔵野台地の一部であったこの新町に最初の村を作りました。もちろん、その前から青梅には人は住んでいましたが、新しい土地をきり拓いたのは初めてのことでした。このような村のことを新田と言います。新町は新田第 1 号です。村をつくるのに 6 年ほどかかったと言われています。生活に必要な水を手に入れるために井戸を作ることが必要でした。今のように電気や機械がない時代に人の手でまっすぐに土地を掘ることは大変難しいことでした。そのために近くの村の人の協力も借りたと言われています。その後も水を手にいれるのに苦労は続きました。井戸はいくつも掘ったのですが、壊れて水が出なくなった井戸もあったそうです。新町の人たちは助け合って、井戸の水を分け与え、新しく新町に移り住んだ人々に遠慮もなく自由に水をくませたそうです。一人でも多くの人に新町に住んでもらい、力を合わせて村づくりをしていこうという気持ちの表れだと思います。

「水を飲むときは井戸を掘った人のことを忘れてはいけない」という中国のことわざがあります。人の思いを大切にするという意味があります。今にあてはめれば、先人の苦労や思いを忘れないようにしようになるでしょう。



本校の歴史は、わずか 50 年ですが、新町地区に学校がなかったわけではありません。青梅の霞村、現在の第三小学校の近くには、多くの人々が住んでいました。少しずつ村が大きくなり、人々も増えました。学校は第三小学校にあったのですが、小学生が通いやすいように新町地区にある東禅寺を借りて『明倫学舎』（めいりんがくしゃ）という学校をつくりました。その後、明倫学舎は新町学校、新町尋常小学校と校名を変えていきます。今から 120 年ほど前に、霞村立霞尋常小学校の新町分教場になりました。新町地区や新町小の歴史

は、市内の多くの学校と同じように、明治の初めのころ、今から 150 年位前からありました。

開校時や開校 10 周年のころの資料を調べて気が付いたことですが、校歌の作詞者で当時教育委員であった先生は、子供たちに「土地を切り拓く開拓の精神を受け継いで日本の未来を創造してほしいと歌に願いを込めた」と言っていました。また、校章には、青梅市の梅に、水を飲むためや使うために苦しんだ新町の歴史と子供たちの井戸けたの中から逞しく育っていく姿を表現したと言われています。このように一つの学校をつくるために、諸先輩方や地域の皆様、全ての人との思いや努力があったことを忘れてはなりません。

昭和 48 年（1973 年）4 月、児童数 314 名・10 学級・教職員 17 名での開校から、30 年後の平成 15 年には児童数 1029 名、学級数 30 学級、教職員 55 名の都内で 1 番学級数の多い学校となりました。これまでの卒業生、6754 名そして、児童に関わる多くのご家族・そして地域の皆様に支えられて令和の今日まで、学校教育目標である思いやりのある子・学習する子・た

くましい子を実現するために、日々学校生活で学習や先生や友達との関係を深めています。卒業生の中には、二代にわたって本校が母校の方や15年以上保護者として関わった方もいます。これからも二代、三代と本校に通う人が増えることでしょう。

新町の人々が、人々の思いや願いを大事にし、これまで過ごしてきた歴史を皆さんも大切にしてほしいと思います。そのためにも、人の気持ちを考えられる人、考えて行動できる人をめざしてください。その姿を多くの人に見せるとともに、思いや気持ちのバトンを後輩たちに渡し、受け継いでほしいと思います。

ここで紹介したい方がいます。この会場に校歌を作曲して下さった〇〇〇〇先生に御参列いただいております。先生が思いをこめて作って下さった曲を児童や教職員が大切に歌い継いできました。本日先生に出席していただくのは、〇〇〇〇校長や私の願いでした。それがかなってとてもうれしい気持ちです。式の最後に校歌を披露します。会場や校舎内にいる全員で歌います。ぜひ、先生も一緒に歌ってくださるとともに、お聞きください。



終わりに、本校は、これまでの歴史を基に、今後七十年、百年と続く地域の発展のために、子供たち・教職員とともに未来に向けて新たな第一歩を踏み出します。青梅市教育委員会をはじめ地域の皆様には今後もお力添えをいただくとともに応援団として学校を支えていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。一つの言葉を大切に。人を大事にするという当たり前のことを当たり前に行える学校、挨拶あふれる地域の一員として、全力で努力することを誓い、校長の式辞とします。

令和5年11月18日  
青梅市立新町小学校

校長 塚田直樹

